



バスの安全を支える スペシャリスト

バスの安全を守るのに、車体を点検し修理する整備士の存在は欠かせません。不具合が起これば、たちまちダイヤに影響し市民の足に影響を与えてしまいます。今回は、市バスの安全の縁の下で支える整備士の仕事を紹介します。

自分が修理したバスがたくさんのお客様を乗せて走る姿をみると嬉しいです



整備士 須藤智明さん

整備士 渡邊篤史さん

「バスには、法律で定められた法定点検に加えて、独自の整備サイクルできめ細やかなチェックを行っています。特に力を入れるのが、故障したら直すのではなく、事前に故障を防ぐ「予防整備」。バスの小さな異変も見逃さず部品の調整・交換などの手当てを行います。ひとたび不具合が起これば、市民の皆様生活に直結してしまいうバスだからこそ、常に安全に走行できるようにしています。」

塩浜営業所で働く須藤智明整備士は「運転手が何も不安なく運転ができる環境にするのが役割です。車両に対して不安がなければ運転に集中でき、よりよいサービスにつながります」と話します。同営業所の渡邊篤史整備士は「ミスなく確実な作業が求められています。通勤時に乗車する時でも異音がないかなど、常にバスの状態を気にかけています」と話しました。

故障を防ぐ！
予防整備に力



まとめ
ちしき

トロリーバスってご存知でしょうか？

空中に張りめぐらせた電線から電気エネルギーの供給を受けて道路を走るトロリーバス。電車のように架線から電気をもらい走っていました。バッテリーを積まない電気自動車という感じでしょうか。川崎市交通局では昭和26年(1951年)3月1日に、東日本で初となるトロリーバスの運行を開始。桜本～川崎駅間を8両で走行しました。開業時の運賃は10銭。上野～青森間の鉄道料金が20円だった時代です。市内のトロリーバスは市民の足となり親しまれましたが、時代の流れにはあがえず昭和42年に廃線となりました。現在、わが国で走るトロリーバスは立山黒部貫光が富山県の立山トンネルで運行するものが唯一となっています。



川崎市市民ミュージアム所蔵



市バスに乗るまえに **セブン-イレブンの** **セブン銀行ATM** でチャージ!!

セブン銀行ATMで、交通系ICカードへのチャージがカンタンにできます。

川崎市と株式会社セブン-イレブン・ジャパンは「地域活性化包括連携協定」を締結しています。川崎市交通局は、その取り組みの一環として、スムーズなバスの乗車とお客様の利便性向上に向け、セブン銀行ATMでの交通系ICカードへの事前チャージをおすすめしています。